

# 氏名 信原幸弘（東京大学名誉教授）

## 科学哲学

■ 議題1のテーマ「これからの自然科学系研究者にとって、市民意識を捉えることは重要か。そもそも、市民意識は捉えられるのか。」という問いについて、お考えをお示してください。

- ・ 基礎研究は研究者の知的好奇心に基づいて行うほうが、画期的な成果につながりやすい
- ・ しかし、知的好奇心に基づく研究は市民意識から乖離し、市民に歓迎されない成果を生み出す恐れがある
- ・ 研究者も一市民として日常生活を送っているとはいえ、知的好奇心に基づく研究生活は日常生活から遊離する可能性があり、それゆえ研究者の意識が市民意識からずれる恐れがある
- ・ そうならないように、研究者が市民意識を捉えて、市民感覚を共有することが重要だ
- ・ 研究者が定期的に市民と科学コミュニケーションを行うことで、市民意識を捉えることが可能だ
- ・ ただし、研究者の間で、知的好奇心にのみ基づいて行う研究と市民意識を捉えつつ行う研究を分業することも、その分業が適切に設定できる場合には、有力な方策であろう